

2022年10月14日

世田谷プラットフォーム協議会 御中

東京都市大学

「【地域の教育支援活動】世田谷区立教育総合センターSTEAM 教育事業」実施報告

世田谷区の幼児・児童・生徒およびその保護者を対象とした「【地域の教育支援活動】世田谷区立教育総合センターSTEAM 教育事業」において、「光と色」を9月24日（土）に実施した。

本取組は、世田谷プラットフォームが地域活性化を目的に、世田谷区及び産業界と共同で企画の上実施する事業で、区内6大学がそれぞれもつリソースを活かし講座を展開している。今回の講座「光と色」は、東京都市大学 理工学部の吉田真史教授を講師として、小学3～6年生を対象に開講し、当日は21名が参加した。内容としては、「マジックウォールを作ろう」、「セロテープで万華鏡を作ろう」「蓄光絵の具で絵を描こう」の3つの工作を行った。偏光板を用いて物体が通り抜ける壁（マジックウォール）では、自分なりの工夫を加えたり、偏光板とセロテープを貼った透明版を作り、さまざまな色を見たり、蓄光パウダーを使って、暗闇でひかる絵を描いたりと3つの工作を通じて、さまざまな光の技術が日常生活に応用されていることなど、光と色のふしぎやおもしろさを講義した。参加者からは色々な光が楽しめた、偏光板の仕組みをもっと勉強したい、自分でも光のひみつワークショップをしたいなどの感想があった。

当日の共同運営参加者は以下の通り。

大学：東京都市大学（理工学部 吉田真史教授、補助学生6名、学長室/黒木留見子、諸星あゆみ）

地方自治体・産業界：世田谷区教育委員会、株式会社そごう・西武

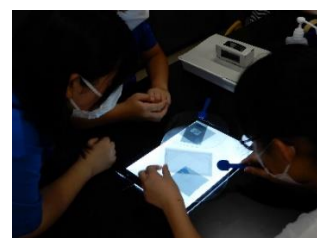
当日の様子



講師の吉田先生



マジックウォールの工作



偏光板、セロテープを重ねて万華鏡のような色合いを観察する参加者